

第四回関西タッチケア・フォーラム “子どものこころとからだ、タッチケア”

講師 紹介プロフィール

	<p>山口創（やまぐちはじめ） 桜美林大学リベラルアーツ群准教授、早稲田大学大学院非常勤講師。早稲田大学大学院卒業。博士（人間科学）、臨床発達心理士。専門は身体心理学。既存の心理学の枠にとらわれず、身体から心へのアプローチ（Embodied mind）を追求している。研究する中で「触れる」という人間にとっての本質的な行為の大切さに気づき、親子のふれあい、看護や医療における「手あて」の効果をはじめ、触覚や皮膚と心の関係にまで領域を広げている。「手の治癒力」「子供の脳は肌にある」「愛撫・人の心に触れる力」「皮膚という脳」など著書多数。</p>
	<p>ブリータ・オストロム 米国シアトル出身。エサレン研究所公認エサレン®ボディワーク認定講師。1999年より日本で教える。1960年代から統合医療とヒューマンポテンシャル運動（人間の潜在能力に関する運動）で有名な米国カリフォルニア州エサレン研究所にかかわる。エサレン®ボディワークの他、ゲシュタルトプラクティスを長年実践し、グループワークも行う米国公認サイコセラピストでもある。40年以上「ふれる」ことを実践し続け、今もなお「ふれる」ことを通じての自己探求と気づき、癒しを世界中の生徒たちに伝える。</p>
	<p>はやしひろこ ラヴィングタッチプロジェクト主宰。NPO 法人関西アロマセラピストフォーラム（KAF）理事。臨床アロマセラピスト/ラヴィングベビータッチ（LBT）インストラクター/小児タッチセラピー指導者。TRI（Touch Research Institute）でのNICUタッチセラピー研修後LBTインストラクター養成講座を立ち上げ、医師、看護師、助産師らと設立したNPO法人KAFにてタッチケアインストラクター養成に努め、ベビー、キッズ、難病の子供たちへのケアにかかわる。著書に『赤ちゃん和妈妈のしあわせタッチケア～絆を育むラヴィングタッチケア』（学陽書房）。大阪府立大学卒。</p>
	<p>田岡うら NPO 法人タッチインピース代表理事。NY 大学在学中、シャーマニックな自然療法に触れた事から、アロマ、ヒーリング、アジアのマッサージ技法、スポーツセラピー、エサレン®ボディワーク等の勉強を始め資格を得る。2004年アテネオリンピックにセラピストとして参加。選手村でのケアを担当し、以降、世界選手権や北京オリンピックの合宿のケアを担当。2010年よりカンボジアにてHIV孤児へのケアを開始。2011年夏より沖縄・久米島にて福島の子供達への保養中のボディケアを担当。NPO 法人エクアドルの子供のための友人の会、NPO 法人沖縄・球美の里、理事。</p>

やさしくふれるって、どんなこと？
 やさしくふれるには、どうすればいいの？
 やさしくふれると、どうなるの？
 やさしくふれたい、ふれられたい、でもなんだかこわい…。

NPO 法人タッチケア支援センターは、そんな気持ちとよりそいながら、赤ちゃんからお年寄りまで、家庭生活や対人援助の現場で役立つ、人にやさしいタッチケアの、心とからだへの影響をあきらかにし、その普及・教育・ボランティア活動・相談事業をおこなう、特定非営利活動法人です。

主宰：特定非営利活動法人 タッチケア支援センター

—やさしくふれると、世界は変わる—

<http://touchcaresupport.com/>

わたしにふれる、いのちにふれる。
 自然にふれる、地球にふれる。
 タッチケアは、
 いのちのぬくもりと、
 今・ここに共にあることを伝え、
 こころとからだを癒し
 つながり再生します。

